

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	聴覚・ろう重複センター藤			
○保護者評価実施期間	2024年11月6日		～	2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～	2024年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ろう・難聴児にとっては手話を中心とした視覚コミュニケーション環境の保障が必要である。当事業所はろう・難聴当事者職員や手話ができる聴職員を配置していることにより、環境が保障されている。	不定期ではあるが、スタッフに対して手話勉強会を開催するなど手話及び視覚的コミュニケーションの研鑽を積む機会を提供している。	手話以外の視覚的工夫(スケジュールの可視化、室内の構造化)など整理していきたい
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい及び家族支援を年に1～2回企画を行うことで実施しているが、質的にも量的にも不足している。	個別による支援及び集団による支援、どちらの方がニーズが高いのか把握できていない。集団による支援の場合職員配置等考慮する必要がある。	回数を少し増やし、且つ定期的な開催が出来るように体制を整えていく
2	地域連携が薄い。	当事業所がろう・難聴・ろう重複児に特化した施設、かつ手話によるコミュニケーションで子どもたちが楽しく過ごしていることを周囲にアピールできていない。	SNSなど時代に合ったPR方法を駆使し、一宮市で聴覚障害児支援と言えば藤と思ってもらえるようにしていく。
3			